



〒520-0041
滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL 077-521-2775
FAX 077-525-5232
Mail info@sbu-ffs.com
URL http://sbu-ffs.com/

6/16 ~ 6/21 滋賀県内リレーでつなぐ 金融労連の旗

今年も、先輩組合員の参加も得て「金融労連」の旗を県内リレーでつなぐことができました。現在のような県内通しリレーの国民平和大行進に取組を始めて今年38年目になります。年を追って参加者も減ってきましたが、今年も先輩組合員と家族など10人が参加し、6日間を通して行進をしました。組合旗と共に引き継がれるリレーノートのには、「非核と平和を求めるメッセージ」「今年も歩ける喜びの声」が書かれています。

岐阜県から滋賀県へ
関ヶ原町民体育館で
引継ぎ集会



6月16日、14時30分から岐阜県からの行進団と滋賀の行進団が関ヶ原町民体育館のホールに集合しました。引継ぎ集会には概ね150人の方が集まり、両県の代表のあいさつに続いて、国際青年リレー行進者のゲアムから参加のレイモンドルジャンさんが力強い発言をされました。「2019年国民平和大行進」の横断幕が

ちぎんしがの総会

6月9日、ちぎんしがの会の総会が大津市内で行われました。総会には19人が参加され、午前中は野洲市の希望が丘においてグラウンドゴルフをされました。総会は和田一郎会長の挨拶で始まり、はじめに、午前中行われたGGの表彰式が行われ、優勝は澤井正さ

議事は谷一明事務局長の司会で進められ、古田雅二ちぎんの会副会長（全国）から「前回総会がちぎんがの会・西部の総会と兼ねた開催とした。会場の淡路島に大分、泉州、元地銀連本部、滋賀から24人が参加した」ことなど経過報告が行われ、澤井さんからは「最近の職場の状況」などが報告されました。交流会は、馬場正男さんの音頭で乾杯で始まり、参加者全員がマイクを回し



「近況、自慢話、嬉しいこと、困りごと」などリレートークをし、賑やかで、和やかな総会となりました。

嘉田紀子氏が市民と野党統一候補に

6月8日、近江八幡市で市民の会しごと市民アクション滋賀の共催で「滋賀県民集会」が開催され200人近い方が参加され、私も参加しました。集会は、市民と野党の共闘で参議院選挙に勝利し、安倍政治を終わらせよう」と開催されたものです。

第一部はジャーナリストの佐高信さんが「安倍暴走政治と闘う」と題した講演をされました。「滋賀は勝てるから来た。自分の言葉で支持を訴える選挙活動で安倍暴走政治にストップをかけよう」と訴え、同氏の著書から宮澤喜一氏や野中広務氏の憲法への態度を引用し日本には現憲法が必要と述べられました。第二部は、参議院選挙の勝利に向けて「私の決意」として立憲民主党、日本共



引き継がれ、いよいよ県内行進がスタートです。

足を引っ張りながらも無事行進できました。

清水綾子

6月16日(日) 雨
関ヶ原〜長浜



6月17日(月) 晴
彦根〜東近江



大雨警報が出て朝から激しい雨が降ったり止んだり。朝鮮半島の非核化、平和の動きに厳しい面もあるが、共同の力で前進させたい。行進の間は、小雨ながらもみんな元気に歩きました。来年も歩けるように健康に気を付けて頑張ります。

山崎幸雄

東京から通し行進の方が「国連に入った時に『新婦人の署名は核兵器廃絶に向けての運動を動かしている』と多くの人に声がかけれられた」との発言に地道な運動の大切さを痛感しました。

最高の行進日和の朝、彦根駅を出発した。通し行進者のお二人も元気そのもの。小林和江さんは78歳との紹介をされたが、東京を出発してから1日も休まずに行進とのこと。私も頑張りねばと歩き出した。愛知川を過ぎた頃から足が思うように上がらない。すでに1万2千歩を超えた。午後は東近江市の市内行進もある。体調を整えてゴールまで頑張り「平和を守る意志」を表明したい。

谷一明



6月18日(火) 晴
安土〜野洲



例年、梅雨の中での行進だったが、今年はまだ梅雨入りしておらず今日も晴れて暑い。
参加者の高齢化もあり、今年はコースが変更になり若干短くなったが、それでも13kmの長い旅路。
いつも通り「平和行進に

行ってくる」と家族に言っ
て家を出た。行進後は帰っ
て何しようかと考えながら
曲がり角を曲がった時、戦
争時代なら、こうして家
に出たきり帰ってこれなかつ
た人が多いのだと思うと、
戦争なんて絶対にしてほし
くない。子どもにも戦争
に行かすなどしてほしくない。
本当に憲法9条で平和を守
りたいと思う次第である。
街宣車から流れるシュプレ
ヒコール「ノーモアヒロシ
マ」「ノーモアナガサキ」に
私も声を
大にして
訴えてい
ます。
時折、



第65回 子どもたちに平和な未来を 滋賀県母親大会

6月2日(日) 蒲生郡日野町の日野小学校と日野公民館を会場に第65回滋賀県母親大会が開催されました。
大会には、県内各地から900人の方が参加され、従業員組合の先輩組合員8人が参加しました。

午前10時に開催された「全体会」のオープニングでは日野中学校吹奏楽部の演奏に聴き入りました。

次に、山村美智子実行委員長が「命と平和を守る母親大会を今後も続けよう」とあいさつをされ、つづいて、歓迎のあいさつで藤沢直広日野町長は「世界でも女性の活躍は目覚ましい。



挨拶をされる山村美智子実行委員長

女性の力で、時代と一緒に切り開いていきたい」と述べられました。

運動交流「とどけ わたしたちの願い」では保育や青年の地域活動など3つの団体から報告があり、日野町事件の阪原さんの長女美

道行く人から組合旗を見て声をかけてくださる方もおられます。
ゴールをめざして歩きつづけます。

八軒 和也



6月19日(水) 晴
野洲〜草津

昨年と同じコースを担当したが、今年は足が痛く体の疲れが一年で違った思いである。年をとった感じを覚えました。平和、戦争のせめぎ合いで重要な時期に組合旗を県内通し行進でき、19日野洲、草津を担当できたことを嬉しく思います。
7月の選挙で平和と安心でき、老後の心配のいらぬ社会をつくるため、野党統一して政治の流れを変えたいと思えました。

澤井 正

6月20日(木) 晴
草津〜大津



昨年参加できなかつたので草津からと思っていたのですが、途中一里山から参加しました。大変暑かつたけれど、東京から通し行進の方が頑張っておられるので、えらいと言っていました。
今年もできることはしていかなければならないと思えました。

浦谷 貞子

出発式の後行進へ。世界情勢は一進一退だが、「進」は草の根が継続してきた運動の成果だと思ふ。暑さもあまり苦にならなくなった(歳のせいかもしれないが)。年々人数が減ってきているように思うが、合わせて次世代対策はどことも苦勞され

智子さんからは、事件の犯人にされ、有罪判決が続くなかで「心が折れそうになりながらも救済会と弁護士に支えられ闘い続けて、昨年7月21日に再審開始決定を手に入れることができました」
「冤罪は、私たち家族から親戚、友達、時間、お金、住み馴れた家、多くのもので持っているいき、最後に父まで奪っていききました」と話し、今後の支援を訴えられました。

これは、アメリカに日本の種子市場が開放され、日本の種子を海外に売り渡すことです。自治体として、種子法を守る条例を制定して食の安全を守ろう」と話されました。
最後に大会アピールが採択し集会は終わりました。

種子法を守る条例制定で「食の安全を守ろう」

記念講演は、元農林水産大臣で弁護士山田正彦さんが「大事なからだ大事ないのちは食から」と題して、農業・種子・食の原点について「日本の風土に合った主要食糧の種子を開発するため明治からあった『種子



講演をされる山田正彦さん

ているのだろうかと妙に同感してしまった。来年も歩こう。できれば金融労連でも何らかの繋がりがつけられたらと思う。

中島 康隆

大変暑い核廃絶と平和を訴え元気に行進。県庁前では通し行進の小林さん松井さんが挨拶され、県知事のメッセージは「核廃絶は世界の流れ、核廃止と平和、琵琶湖を守るため私も署名した」と。
また来年も歩けるように体のケアをして整えたい。

小原 信夫

中央からの通し行進の小林さんと兵庫からの参加で2年をかけて広島・東京間を歩いておられる方を囲んで行進が終わってから懇談しました。滋賀県は、被爆者の方の声が一つも聞かれなかつたと。滋賀県は被爆者団体が組織できていないとのことでした。

植木 和美

6月21日(金) 晴
大津〜京都



県庁を9時30分に出発。お天気に恵まれ元気に終えることができました。坂下久喜さん(祥子さんの夫さん)が藤尾の休憩場所まで金融労連の旗を持ってくださいました。記念撮影は新婦人の仲間も入ってパチリ、坂下さんも。

さすが京都のお迎えの人数はすごい数。総評の方の挨拶も良かったです。62回続けているこの行進、核兵器廃絶の条例が1日も早く成立するためにも、運動を前進させていく一歩になれば! 歩ける限り歩いて行きたいです。

植木 和美